

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 港営課長	
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	インセンティブによる船舶誘致・港湾施設の効率的な使用促進			連絡先	052-654-7875	
目的	対象(誰・何を)	船社及び港湾運送事業者			事業期間	～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	船舶の誘致や港湾施設の効率的な使用を促進します。				
概要	コンテナ輸送、完成自動車輸送、大型船舶等に対して入港料・港湾施設使用料の減免を行います。			根拠法令等	入港料及び港湾施設使用料の減免に関する要綱	
令和元年度の実施予定	入港料及び港湾施設使用料の減免を実施します。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				関連シート		

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	入港料及び港湾施設使用料の減免を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	0	0	0	0	
人件費	千円	3,676	3,688	3,670	3,678	
合計	千円	3,676	3,688	3,670	3,678	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
コンテナ船定期航路数(航路) (単年度管理型)	目標		76		78	コンテナ輸送に対する支援による、コンテナ船定期航路数の維持・拡大を目標としています。	
	実績	70	76	72			
事業進捗状況(元年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
外航の自動車専用船が1回の入港により、完成自動車の荷役のために公共岸壁を2回以上使用した件数(件) (単年度管理型)	目標		85		102	完成自動車輸送に対する支援による、港湾施設の効率的な使用を目標としています。	
	実績	49	81	70			
事業進捗状況(元年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	船社がコンテナ輸送の効率化を図るため、アライアンスの再編を行った結果、コンテナ定期航路数が目標値をやや下回ったものの、前年度の実績を概ね維持できたことから、インセンティブが活用され、船舶の誘致や港湾施設の有効な利用に寄与しています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	<input type="radio"/>	国際競争力の確保とともに、船舶の誘致や港湾施設の有効な活用を促進するために港湾施設使用料等の低減化に取り組む必要があります。					
有効性	<input type="radio"/>	インセンティブを実施することにより基幹航路の維持・増加や港湾施設の有効な活用にご貢献しています。目標値をやや下回ったものの、前年度の実績を概ね維持できたことから、インセンティブが活用され、船舶の誘致や港湾施設の有効な利用に寄与しています。					
効率性	<input type="radio"/>	港勢の拡大を図るため、厳しい財政状況の中で必要なインセンティブを実施していると考えます。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	引き続き、船舶の誘致や港湾施設の効率的な使用を促進する必要があるため。なお、船社がコンテナ輸送の効率化を図るため、アライアンスの再編・集約化を行った結果、コンテナ航路数が減少したものであるため成果・コストを維持とします。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
船舶の誘致や港湾施設の有効な活用を促進するため、利用者のニーズに合ったインセンティブを幅広く検討する必要があります。			他港のインセンティブの調査等を行い、取扱貨物量の増加、船舶の誘致、港湾施設の有効な活用及び取扱機能の集約・拠点化に寄与するインセンティブを検討します。